



平成 26 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 原 口 博 光  
(コード番号 5 3 3 7 東証・大証第 1 部)  
問合せ先 社長室長 前 山 達 史  
(T E L (06)4795-5000)

## 当社の遊休資産の活用策について

当社グループは、本業であるタイル製造業の収益改善を柱としつつ、投資運用業と不動産賃貸業といった関連事業をも含めたグループ資産全体の活用策を検討しています。

当社の主力工場の 1 つでありました宇都宮工場（栃木県宇都宮市）は平成 2 3 年 3 月に発生した東日本大震災により被災し閉鎖を余儀なくされたところですが、遊休地となっている当該用地の活用策について事業採算性を前提として検討してきたところ、地域経済の活性化や雇用の促進に資するとともに、防災機能などを兼ね備えた地域の賑わいを促す交流拠点として再開発する方針を固めました。

今後は、この方針に基づいて地域住民の皆さんをはじめ、関係各方面との協議を行いつつ、計画の具体化を推し進めて参ります。

記

### 1. 本計画の趣旨

- 宇都宮工場は、当社が有するタイル製造のノウハウの全てを凝縮した主力工場として、この岡本の地に昭和 3 0 年代より稼動して以降、ピーク時には 1 0 0 0 人近くの従業員を擁し、地域の皆様と文字通り二人三脚で発展して参りました。
- しかしながら、平成 2 3 年 3 月の東日本大震災の影響により被害を受け、工場の閉鎖を余儀なくされました。再稼動の可能性も模索しましたが、被害状況から工場の再稼動を断念せざるを得なくなり現在は閉鎖しております。
- このような状況を打開するため、地域経済の活性化に資する工場跡地の活用策を検討した結果、環境への配慮と快適な生活の両立に加え、防災機能を付加し、子どもから高齢者まで、元気に安心して暮らせる「まちづくり」を目指すべきとの結論に至りました。
- 具体的には、①地域経済の活性化、②雇用の創出、③防災拠点、安心・安全という 3 点に重点を置いた開発を目指します。
- 人口減少や高齢化が進む地方都市で住宅や商業、公共施設を中心部に集める「コンパクト

シティー」構想を全国で推進する政府の計画を受けて、宇都宮市では「コンパクトシティー」の概念を更に進めた『ネットワーク型』コンパクトシティー」を志向しており、当該地が位置する岡本地域についても「ネットワーク」を構成する地域拠点の1つとして挙げられていることから、本プロジェクトもこれに軌を一にすることができると考えております。

## 2. 完成イメージ



## 3. 計画地

所在地：栃木県宇都宮市下岡本町2130番地

敷地面積：146,250㎡



以上

【参考】「ネットワーク型コンパクトシティ」の概要（宇都宮市 HP より）


**うつのみやが目指すまちの姿  
「ネットワーク型コンパクトシティ」**  
 ～100年先も誇れるまちを、みんなで～

**これまでは** — 時代とともにまちの姿を変え、宇都宮市は着実に発展してきました

- 戦後、人口は右肩上がり増加 ●モータリゼーションや高度経済成長を背景に人々の暮らしは豊かに
- 合併により市域を広げるとともに、工業団地の造成や東北新幹線の開通などが社会経済の発展に寄与

**しかし今** — 時代は大きな転換期にあります

**人口減少・高齢社会の進行**

- 日本の人口は既に減少時代へ突入 50年後には現在の3分の2と予測【※1】
- 世界に類を見ない速さで高齢化が進行 現在の高齢者（65歳以上）の割合4人に1人が、50年後には2.5人に1人に【※2】

**地球規模での環境問題**

- 猛暑や豪雨など、命をも脅かす異常気象や自然災害が世界中で多発
- 日本は温室効果ガス排出を2020年までに、1990年に比べ25%削減することを目標に【※3】

**国内経済の停滞**

- 今後、人口減少による経済活力の減退が懸念
- 企業倒産、就職難の負の連鎖
- 税金が大きく減少する一方、医療や介護などの社会保障費は増加の一途

**これからは** — 宇都宮市においても社会的な課題への対応が求められています

**本市でも人口減少が目の前に**

- 本市では2015年をピークに人口が減り始める見込み【※4】
- 2022年には市民の4人に1人が高齢者になる見込みであり、若い世代が支えることに【※5】

**全国でも有数のクルマ社会**

- 本市の2003年時点のCO<sub>2</sub>排出量は1990年に比べ24.5%増加【※6】 今後の削減が大きな課題
- 本市の1世帯当たりのガソリン消費量は、全国の県庁所在地の中でもトップクラス【※7】

**まちの活力の低下**

- ハローワーク宇都宮管内の有効求人倍率（求職者1人当たりの求人数）は、現在0.69にまで低下【※8】
- まちの顔である中心市街地の通行量は10年前に比べ半分に。活性化が急務【※9】

**そして私たちは…** — “未来の選択” 私たちのまちを こうしたいと考えています

**身近な地域で支え合うまち**

- 日常生活に必要な機能が、身近な地域に備わり、子どもから高齢者まで、歩いて暮らせるまち
- 地域の人々がつながって、助け合いながら、安心して、健康に暮らせるまち

**環境にやさしいまち**

- 公共交通ネットワークが整備され、移動にかかる環境への負荷を低く抑えられるまち
- 都市と自然が共存する緑豊かなまち

**元気で成長するまち**

- ひとや企業から選ばれ、それらがいきいきと活動するまち
- これまでに整備してきた公共的な施設を効果的・効率的に活用し、ムダなく運営できるまち

これらを実現していくまちの姿が、まちの機能や人口が拠点に集積し（コンパクト）、拠点が連携する（ネットワーク）

**「ネットワーク型コンパクトシティ」**です。

30年、50年という長い時間をかけながら  
3つの方針で、ネットワーク型コンパクトシティのまちづくりに取り組んでいきます。

- 1 市街地の拡大を抑え コンパクトなまちをつくるメリハリのある土地利用** 『土地利用の適正化』
- 2 人や魅力が集まり にぎわう 個性ある拠点づくり** 『拠点化の促進』
- 3 交通ネットワークで つなげるつながる** 『ネットワーク化の促進』

【※1】、【※2】国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」 【※3】コペンハーゲンでの第16回気候変動枠組条約締約国会議の合意を受け、2010年1月26日に国連事務局長は提出した日本の目標 【※4】、【※5】宇都宮市「第5次宇都宮市総合計画（2008年5月）」による推計 【※6】宇都宮市「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画（2007年2月）」による調査

具体的には、どのようなまちになるのでしょうか？



## どういう拠点になるの？

### 都市拠点

高度なまちの機能や魅力が集積した拠点

- 二荒山神社やJR宇都宮駅、東武宇都宮駅、オリオン通りなどが集まっている、宇都宮の顔となる拠点です。
- 百貨店や総合病院、オフィス、文化芸術やアミューズメントの施設など、高度な機能が集まっています。
- 新幹線や在来線により首都圏や東北へ、またバスなどにより市内各地へとアクセスできる高度な交通結節機能を備えています。



### 地域拠点

特色あるまちの機能が充実した拠点

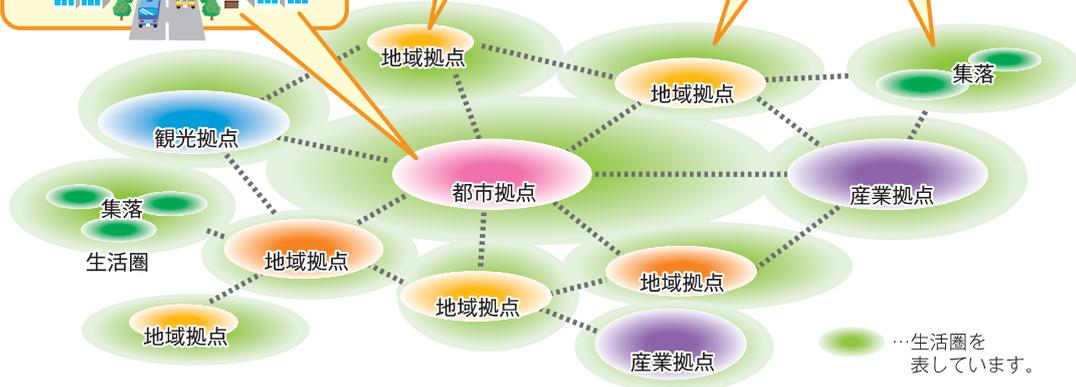
- 周辺地域の核となる拠点です。
- 大型店舗や病院、金融機関などさまざまなニーズに対応する機能を備えています。
- バスや鉄道といった交通結節機能を備えています。



### 生活圏

それぞれの周辺環境に応じた暮らしやすさが充実した拠点

- 元気な地域コミュニティで、日常生活を送るエリアです。
- 商店や郵便局、小・中学校、地域福祉の施設などを備えています。
- 地域内交通を備えています。



## 拠点がつながるとどうなるの？

それぞれの拠点がまちの機能を補い合い高め合う

都市拠点、地域拠点、産業拠点など、それぞれの拠点がつながり、お互いのまちの機能を補い合うとともに、相乗効果で都市全体の魅力が高まります。



市内や拠点間を便利に移動

交通ネットワークできめ細かくつながり、誰もが目的に応じた交通手段で、快適に移動することができるようになります。



さまざまな地域での暮らしが、それぞれに快適になる生活重視のまちになります。

次のページで、さまざまな拠点がつながる姿や「公共交通ネットワーク」について詳しく見てみましょう。

【※7】総務省統計局「家計調査家計収支編」全国の県庁所在地の中で、本市は2009年は第7位、2008年は第1位の消費量。【※8】ハローワーク宇都宮管内2010年9月時点の有効求人倍率\*2009年1月=0.82となっており、1未満で低迷、同7月0.65が最低。【※9】宇都宮市、宇都宮商工会議所「商店街通行量、来街者実態調査(2010年度)」